

「アダプトロードプログラム」の同意書に調印

◎土木管理課 ☎36・7181

7月28日、初倉まちづくりの会と市、県島田土木事務所の3者は、主要地方道島田吉田線の1km区間（阪本地区）について、「しずおかアダプトロードプログラム」に関する同意書を取り交わしました。同プログラムは、道路の美しい環境づくりを目的として、住民活動を行政が支援する取り組みで、市内では6団体目となります。

今後、初倉まちづくりの会は、対象区間の花壇の手入れや除草作業などの維持管理を行っていきます。



同意書を交わした初倉まちづくりの会の代表3人（中央）

平和への誓いを新たに「島田市平和祈念式典」

◎地域づくり課 ☎36・7197

71回目の終戦の日を迎えた8月15日、プラザおおるりで島田市平和祈念式典が行われました。式典には多くの市民が参列し、戦争の犠牲となった人々の冥福を祈りました。

式典で染谷市長は「平和への想いを再認識し、共に平和な社会と安心して暮らせる社会を実現するため、市内外に向けて市民の想いを発信していきたい」と誓いました。

代表者による献花の後には、当市出身でフランスを拠点に活動して



フランスでの活動を紹介する美帆さん

る平和活動家の美帆シボさんの講演や、島田市少年少女合唱団による合唱が行われました。

三遊亭遊喜さんに島田市ふるさと大使を委嘱

◎広報課 ☎36・7355

8月21日、博物館分館で地元出身の著名人に市をPRしてもらう「島田市ふるさと大使」の委嘱式が行われ、落語家の三遊亭遊喜さんに染谷市長から委嘱状が交付されました。

委嘱式は、県民の日協賛イベントのナイトミュージアム「KAWAGOSHI お江戸気分」夕涼み寄席の中で行われ、市長と遊喜さんとの対談も実現しました。

対談で遊喜さんは「大使として、島田市のことを全国に広めていきたい」と抱負を語ってくれました。



会場を沸かせる遊喜さん

ふるさと大使の委嘱は、川合正矩さん、別所哲也さんに続いて3人目となります。

「島田のお祭り」オリジナルフレーム切手を制作

◎広報課 ☎36・7355

今年、市内の代表的な祭り「金谷茶まつり」「島田鬚まつり」「島田大祭」の全てが開催される年。これを記念して、日本郵便㈱と市が共同でオリジナルフレーム切手「島田のお祭り〜6年に一度のまつり年〜」を制作しました。切手には、市ブランドメッセージ・ロゴ「島田市緑茶化計画」もデザインされています。

8月30日には、日本郵便の関係者が来庁し、市と市観光協会に贈呈状とフレーム切手が贈られました。



市長へ贈呈状を渡す稲森島田本通郵便局長

切手は、市観光協会や近隣市町の郵便局44カ所で限定販売中です。